

2015年(平成27年)8月18日(火曜日)

構造、コストの妥当性点検

新国立審査委が発足

新国立競技場の整備計画

が妥当かどうかを点検する日本スポーツ振興センター(JSC)の「技術提案等審査委員会」の初会合が十七日、東京都港区のJSC本部で開かれた。政府が月内にも示す新たな整備計画に基づき、施工業者向けの募集要項を作成することなどを決めた。

―関連の社説の面

同委員会は村上周三・東京大名誉教授(建築環境)

を委員長とし、建築や景観の専門家らと合わせて計七人で構成。白紙撤回された旧計画はデザインを重視したために構造やコストに対する審査が不十分だったとの反省から、十四日の閣僚会議で設置が決まっ

た。施工業者が提出する技術提案書や、価格交渉が適正に行われるかといった点についても検証する。

記者会見した村上氏は「国民の関心が非常に高い。情報公開に努めたい」などと話した。

村上氏以外のメンバーは次の通り(敬称略)。

秋山哲一(東洋大教授)、工藤和美(同)、久保哲夫(東京大名誉教授)、香山寿夫(同)、深尾精一(首都大学東京名誉教授)、涌井史郎(東京都市大教授)

提訴のデザイナー